

## 平成 17 年 7 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 17 年 6 月 10 日

会 社 名 サムコ 株式会社

(JASDAQ・コード番号： 6387)

( URL <http://www.samco.co.jp> )

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 辻 理

問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長兼経理部長

氏 名 田井 彰

( Tel : ( 075 ) 621 - 7841 )

### 1 . 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高（又はこれに相当する事項）の会計処理の方法の : 無  
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

### 2 . 平成 17 年 7 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 4 月 30 日）

#### ( 1 ) 売上高及び受注高

(百万円未満は切捨表示)

	売 上 高		受 注 高	
	百万円	%	百万円	%
17 年 7 月 期 第 3 四 半 期	2,269	( 10.2 )	2,625	( 11.4 )
16 年 7 月 期 第 3 四 半 期	2,527	( )	2,356	( )
( 参 考 ) 16 年 7 月 期	3,374	( 1.8 )	3,159	( 10.1 )

(注) 1 . 売上高及び受注高は、当該四半期までの累計値であります。

2 . パーセント表示は、前年同期比増減率を示しております。

3 . 15 年 7 月 期 第 3 四 半 期 は、開示を行っておりませんので 16 年 7 月 期 第 3 四半期の前年同期比増減率については記載しておりません。

#### [ 売上高及び受注高に関する補足説明 ]

当該第 3 四半期のわが国経済は、IT 関連企業の在庫調整、原油高や原材料高から、景気は引き続き踊り場での力強さを欠く展開となりました。

こうした環境の中、当社は、研究開発用途向け装置を中心とする販売から生産用途向け装置の拡販に向けた“生産機事業部”の新設による迅速な営業・サービス体制を確立し、近時の中国市場における需要の拡大に対応して上海事務所を本格稼働させる等、受注の獲得と売上拡大に精力的に取り組んで参りました。その結果、当四半期における当社の売上高は、電子部品用途や半導体の欠陥解析用途等での販売が引き続き堅調に推移いたしました。一方、LED 用途向け装置等のオプトエレクトロニクス分野で一部売上が第 4 四半期となったことにより通期累計の売上高は 2,269 百万円となりました。受注につきましては、オプトエレクトロニクス分野向けが堅調に推移し、特に中国市場における受注の活発化、その他三次元実装用途や各種クリーニング用途での受注が順調で通期累計の受注高は 2,625 百万円となりました。

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象  
該当事項はありません。

3. 平成 17 年 7 月期の通期業績予想 (平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 7 月 31 日)

	予 想 売 上 高 (百万円)	予 想 経 常 利 益 (百万円)	予 想 当 期 純 利 益 (百万円)	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益 (円 銭)
前 回 予 想	3,500	455	273	55 16
今 回 予 想	3,250	341	205	41 25

[ 業績予想に関する定性的情報等 ]

通期の業績予想につきましては、一部エッチング装置の出荷が販売先の設備設置スケジュールの変更により来期へずれ込む見込みであり、平成 17 年 3 月 18 日の中間決算短信発表時に公表いたしました業績予想を上記のように変更しております。売上高は、前回予想の 3,500 百万円から 3,250 百万円(前年同期比 3.7%減)、経常利益及び当期純利益は、売上高の減少に伴い前回予想を下回り、それぞれ 341 百万円(前年同期比 17.2%減)、 205 百万円(前年同期比 18.4%減)となる見通しです。

以 上

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。